国臨協関信支部

埼玉地区会だより

No.4

令和５年 11 月発行

会長就任の挨拶

国臨協関信支部　埼玉地区会
会長　蓮尾　茂幸

平素より国臨協関信支部埼玉地区会に於きまして、御協力を賜り心よりお礼申し上げます。令和 4 年度埼玉地区会定期総会（書面表決）にて会長を拝命いたしました埼玉病院の蓮尾と申します。微力ではございますが、令和 5 年度の事業方針に則り会務を進めて参りたいと思いますので、何卒、皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、2024 年度からは、医師の働き方改革が開始となります。各施設においても臨床検査技師のタスク・シフト/シェアで何が出来るのか問われているのではないでしょうか。また、臨地実習のガイドラインの改訂により実習内容や評価方法が以前より詳細になり、検査技師に求められることが多くなってきております。しかし、いずれも検査技師が活躍の場を広げていくには、必要なことと感じております。これらをサポートしていける研修会などを開催できるよう努めていきたいと思います。

今年度は、with コロナということで、集合型の研修会・勉強会、レクリエーションを再開したいと考えております。施設事情もありますので参加が難しい施設もあると思います。都度、確認しながら行っていきます。

なお、会員皆様からのご意見ご要望そして情報提供等がございましたら各施設の理事までお声掛けいただければ幸甚です。 最後になりましたが、埼玉地区会の益々の発展と会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

NEW FACE

NHO 埼玉病院

加山　新菜

令和 5 年 7 月 1 日付で神奈川病院より異動して参りました、加山新菜と申します。

前施設では主に生理検査と、バックアップとして少しではありますが病理検査も担当していました。現在は病理検査室に配属となり、日々奮闘しています。

出身が和光市で実家は埼玉病院の目の前でした。久しぶりに和光市に戻ってきて、周辺のお店や景色を見てとても懐かしく感じています。埼玉病院も子供の頃は古い印象でしたが、現在は大きく綺麗な病院になっていることに驚きました。

そんな私の今年の冬にやりたいことは、スノーボードです。今までは、富士山の麓にあるスキー場や長野や新潟に滑りに行っていました。真っ白な雪の上を滑るとスッキリした気持ちになれます。ここ数年はコロナ禍であまり行けていなかったので、今年はまだ行ったことのない群馬のスキー場にも行ってみたいと思っています。

最後になりましたが、埼玉地区会の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

NHO 埼玉病院

高田　一慎

7 月 1 日付で国立がん研究センター東病院から異動してきました高田一慎です。

出身は茨城県で今回初めて埼玉県に引っ越してきました。埼玉県は美味しいものが多く、街も綺麗で、引っ越してきて良かったなと感じています。

異動してきてから早くも三か月が経ちましたが、まだまだ慣れないことばかりで日々奮闘しております。初めての異動、当直業務など、かなり不安でしたが検査科の方々に丁寧にご指導頂き、楽しく仕事をさせていただいています。前の施設では 2 年間輸血を担当していました。埼玉病院でも輸血を担当することになりましたので今までの経験を活かしつつ、患者様や臨床に貢献できるよう仕事と勉強に精一杯取り組んでいきたいと思います。しばらくの課題はあらゆる業務で自立できるようになることです。また、医療に携わる人間として接遇等も身に着けていかなければならないなと痛感しているので、そちらの課題も解決に向けて精進していきます。

ご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、これからよろしくお願い致します。

NHO 西埼玉中央病院

佐藤慶和

皆様初めまして。令和 5 年 11 月 1 日付けで西埼玉中央病院に配属になりました佐藤慶和と申します。長野県長野市出身で、茨城県の大学を出て埼玉県にやってきました。趣味は散歩と筋力トレーニングです。見知った土地や初めての土地をゆっくり歩いて散策することが好きです。野球や水泳、剣道など様々なスポーツの経験や応援団の団長をしていたことから、体を鍛えることが日課になりました。

社会人として初めての職場が西埼玉中央病院であり、右も左も分からない状態でしたが、技師長をはじめとする先輩方に優しく指導して頂き、日々の業務を行っています。現在は細菌検査室を担当しており、ルーチン業務を覚えることに専念しています。また、採血や日当直業務など覚えることがたくさんありますが、先輩方の胸を借りて日々精進しています。まだまだ未熟者ではありますが、知識の幅を広げつつ、現場での経験を積み重ねて、検査技師として更に成長できるよう頑張ります。これからどうぞよろしくお願いします。

初めての国病学会に参加して

NHO 埼玉病院
村松　空

埼玉病院　臨床検査技師の村松 空です。私は、10 月 20 日、21 日に広島県で開催された国立病院総合医学会に参加してきました。本学会では「生理検査室における緊急時報告の現状とその有用性」という演題でポスター発表をさせて頂きました。国立病院機構に就職して初めての学会参加であり、不安もありました。しかし、多職種・他分野の演題が集まるこの学会は、自分の持つ知識を深めると共に新しく知らない分野について学ぶことのできるまたとない機会であることに大きな期待を持って臨みました。しかし実際にはじめてみると、学会発表に向けたポスターの作製や発表の練習は想像以上に難しいものでした。例えば、当院の運用を全く知らない聞き手に分かりやすい発表にするにはどのように話を展開し、ポスターに情報を配置していくべきか、3 分という短い時間で発表の主旨を伝えるにはどうまとめれば良いのか、何度も試行錯誤を繰り返しました。そして、前日まで技師長、副技師長、主任をはじめとする多くの方々に助言を頂きながら、なんとか形にすることができました。

当日は、想像以上の参加者の人数に驚きましたが、全国から集まった医師、看護師といった様々な職種・分野の講演や発表を目にする大変貴重な経験となりました。自身の発表は、発表者と聴衆の距離が思っていた以上に近かったり、想定していたものとは全く異なる質問があったりと、動揺や緊張の連続でしたが、無事に終えることができました。

また、今回の学会参加の魅力は、多職種・他分野の演題を聴講できることだけではありません。開催地の観光や参加者との交流も自分にとって貴重な体験となりました。本学会の会場近くには世界文化遺産に登録されている原爆ドームがありました。学会参加者には広島平和記念資料館に無料で入館できるという参加特典が付与されていたこともあり、私も見学してきました。核兵器と戦争の悲惨さと平和の大切さを再確認する良い機会となりました。さらに、本学会では、1 日目の最後に全員交流会と称する参加者同士の交流会がありました。普段は会う機会のない他施設の方とお話したり、他施設で行っている取り組みを知ったりすることができました。こうした交流の機会があることも一つの場所に全国から多くの発表者が集まる学会ならではの魅力だと思います。

このように、国立病院総合医学会に参加した 2 日間は振り返ると短い間でしたが、多くの学びと楽しみのある充実した時間を過ごすことができました。今後も日々の業務の中で、問題意識を持ち学び続ける姿勢を忘れず、積極的に学会に参加していきたいと思いました。

最後になりましたが、本学会を開催するにあたりましてご尽力頂きました国立病院機構呉医療センターの皆様をはじめ、関係者の方々に深く御礼申し上げます。